

2021年5月20日

各位

会社名 中小企業ホールディングス(株)
(旧社名 クレアホールディングス(株))
代表者名 代表取締役社長 岡本 武之
(コード番号 1757 東証第2部)
問合せ先 代表取締役社長 岡本 武之
(Tel. 03-5775-2100)

特別利益、特別損失、営業外費用、貸倒引当金繰入額
及びたな卸資産評価損の計上に関するお知らせ

当社は、2021年3月期において、特別利益、特別損失、営業外費用、貸倒引当金繰入額（販売費及び一般管理費）、たな卸資産評価損（売上原価）を計上することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上について

完成工事の瑕疵補償に備えて計上している完成工事補償引当金について、補償期間を加味して精査したことに伴い、2021年3月期において、完成工事補償引当金戻入額として22百万円を特別利益に計上いたしました。

2. 特別損失の計上について

エンターテインメント施設を対象とする不動産賃貸事業におきまして、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う集客低迷が当面継続することを想定した施設運営会社の中長期的な事業継続の不確実性から、2021年3月期において、有形固定資産の減損損失151百万円を特別損失に計上いたしました。

また、LEDディスプレイ商品販売等の事業について、2021年4月20日付で当社連結子会社であったクリア株式会社の全株式を譲渡したことにより当該事業の事業主体が不在となったこと、及び一定程度の収益寄与には未だ期間を要する状況に鑑み、今後の事業継続の不確実性から、2021年3月期において、有形固定資産の減損損失として72百万円を特別損失に計上いたしました。

3. 営業外費用の計上について

株式交換の相手先候補である株式会社オンサイトスクリーンへの貸付金100百万円の回収可能性を考慮し、2021年3月期において、同額を貸倒引当金繰入額として営業外費用に計上いたしました。

また、当社連結子会社のクリア株式会社、及びクリア建設株式会社について、経営成績及び財政状況の悪化を踏まえ、2021年3月期の個別決算において、これら子会社の債務超過額に対する2021年3月期第4四半期分の貸倒引当金繰入額として、クリア株式会社に係る906百万円、及びクリア建設株式会社に係る8百万円を営業外費用に計上いたしました。なお、当該貸倒引当金繰入額は、個別財務諸表のみに計上され連結決算では消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

4. 貸倒引当金繰入額（販売費及び一般管理費）の計上について

不動産開発（新潟市秋葉区）の共同事業について、開発権利等の譲渡が長期化していることにより、回収の不確実性が増したため、2021年3月期において、未収入金簿価150百万円のうち、75百万円を貸倒引当金繰入額として販売費及び一般管理費に計上いたしました。

5. たな卸資産評価損（売上原価）の計上について

不動産事業において、大阪府堺市の開発用不動産（販売用不動産）660百万円について、開発に向けた追加の必要資金等を考慮した経営判断上の今後の事業継続の不確実性から、2021年3月期において、たな卸資産評価損として330百万円を売上原価に計上いたしました。

6. 業績に与える影響

本件につきましては、本日公表の「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以上